七飯町立七重小学校　学校だより　第２号　　令和７年５月３０日発行

あかまつ

本校経営・教育活動推進理念　自　分　か　ら
教育活動・授業推進重点目標　ま　っ　す　ぐ

「運動会」

校長　五十嵐　義幸

私が小学生だった時の運動会、全校 800 名ほどの子どもたちで、グラウンドは七重小の半分もなかったです。昭和 50 年頃のことですから、今とは隔世の感があります。でも、運動会の雰囲気は昔も今も同じ。ブルーシートなんて敷いていたら子どもが座りきれませんから、全員教室の椅子をもってグラウンドに集合でした。私は、低学年の頃は小さくてすばしこかったのでリレー選手、４年生からは太く？たくましさが増したとしておきましょう。綱引きの選手でした。とにかく足は遅かった。１等なんてとったことがありません。自分の出番は運動会中に２度あったでしょうか、もてあまして叱られている方が多かった。私は、運動会が好きでも嫌いでもなかったです。でも、その日だけは裏がゴムの地下足袋を履いて、万国旗のグラウンドには音楽が流れていて、あの焦燥感にも似たワクワク感は好きでした。

運動会は、運動会なんです。子どもが大人になったとき、「ああ、小学校の運動会であんなことあったっけなあ」と、その人その人の運動会がある。その陰にある教育的な目標、例えば「協力して」「自分たちで創り上げる」といったことは、運動会を通して身に付けていった子ども自身にはそれほど自覚や思い出にはなっていないことも多いでしょう。しかし、そうやって学校で身に付けていく力が、知らず知らずにその子の成長を培っていくのもまぎれもない真実です。

本校の運動会は、「フェアプレイ発表会」でした。コロナ禍中もその後も、どのような運動会が子どもたちのためになり、持続可能なものだろうかと、それこそ一生懸命に考えて形になってきたものです。２学年ずつ開催したことも、中身を変えながら進めてきたこともありました。常に、「子どもたちの教育のために」という熱い思いがあったことに間違いはありません。ただし、削がれてきたものもあったと思っています。それは、運動会だからこそ味わえる気持ちの面での高揚感です。

今年は、３学年ずつの開催です。私が先生方に話したのは、「運動会には運動会でなければ味わえない醍醐味や一体感がある。私は、子どもたちが大人になったとき、その子の中に『運動会』という思い出があってほしい。」ということです。だからこそ、終わったときには「楽しかったね」「がんばったよね」の満足感がなくてはならない。３学年ずつの開催は「フェアプレイ運動会」と名前も変え、目指すのは「一体感」と担当が打ち出してくれました。これが、本校が行ってきた分けて行う運動会の集大成だと伝えています。３学年ずつ約３時間ずつの運動会です。合わせたら約６時間です。午後までやっていた全校の運動会は実質４時間～４時間半の内容でしたから、時間だけとっても相当なものです。私は、大いに期待をして発破をかけています。盛り上げるには、保護者皆様の応援が必要です。子どもたちへの声援をお願いいたします。本校の運動会は、まっすぐに前向きに進化していきます。どうぞ、子どもたち、保護者、先生方が力を合わせ「一体感」をみんなが味わえる運動会に向けお力添えください。

七重小学校ホームページ

子どもたちの様子を「学校日記」等を通して紹介しています。ぜひアクセスして、子どもたちのがんばりをご覧ください。
https://www.town.nanae.hokkaido.jp/education/detail/00009207.html

租税教室

６年生を対象に,５月２７日（火）３・４時間目に函館税務署の方による租税教室を実施しました。

一億円の札束の見本を持ってきていただき,重さを体感しました。なぜ,税金を納めないといけないのか,税金にはどんな種類があるのか,税金のない世界もシミュレーションして勉強できました。

フッ化物洗口スタート

４月３０日より、フッ化物洗口が始まりました。下校前に、１分間洗口液を口に含みぶくぶくしながら、洗口液を口内にいきわたらせます。洗口液は少し苦い味がしますが、途中で吐き出したりせず、上手に洗口ができました。

毎週実施し、健康な歯を目指します。

※　万一、間違って飲んでしまったときは、ご家庭に報告するとともに、健康には影響はないのですが、３０分ほど学校で経過観察を行った後、下校となります。

みんなが幸せな学校に　～誰一人取り残さない、安心安全で、楽しい学校～

入学・進級して二カ月が経ちました。子供たちは、遠足を楽しみ友達との思い出をつくったり、フェアプレイ運動会に向けて下学年に表現（よさこい）を教えたりと、様々な取組に励んでいます。ただ場合によってはクラス替え等で人間関係を築くのに時間がかかり疲れがたまってしまう場合等もあるかもしれません。お子様のことで、相談がある際には、気軽にご連絡をください。担任はもとより、学年の職員、スクールカウンセラー、管理職等、様々な立場で、相談を受けております。学校が、よりよい人間関係の形成の場となるよう、これからも努めてまいります。

なお、下記の相談窓口がありますので紹介します。

子どもに気になる様子が見られるときは…

https://www.town.nanae.hokkaido.jp/hotnews/files/00015200/00015207/20241217164218.pdf

各種相談窓口

https://www.town.nanae.hokkaido.jp/education/detail/00014208.html

いじめ等相談窓口について

https://www.town.nanae.hokkaido.jp/education/detail/00010977.html

もしも欠席が続いたら、ご協力ください

学校は、連続した欠席が５日以上のお子さん、４月から３０日以上欠席のお子さん等について、七飯町教育委員会へ報告することとなっております。また、北海道教育委員会の指針により、欠席が続くお子さんがいた時は、欠席の連絡をいただくだけでなく、お子さん本人とお会いすることとなっております。

春の遠足より